

平成26事業年度

決算報告書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人神戸大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	21,636	23,498	1,862	(注1)
施設整備費補助金	1,940	1,919	△ 21	
補助金等収入	1,769	1,537	△ 231	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	78	78	-	
自己収入	41,113	39,330	△ 1,784	
授業料、入学料及び検定料収入	9,548	9,374	△ 174	(注3)
附属病院収入	31,096	29,335	△ 1,762	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	469	620	151	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,266	8,486	2,219	(注6)
引当金取崩	-	322	322	(注7)
長期借入金収入	4,998	4,998	-	
貸付回収金	5	3	△ 2	
目的積立金取崩	55	107	52	
計	77,860	80,276	2,416	
支出				
業務費	60,900	61,152	252	
教育研究経費	30,151	31,706	1,555	(注8)
診療経費	30,749	29,446	△ 1,303	(注9)
施設整備費	7,015	6,994	△ 21	
補助金等	1,769	1,537	△ 231	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,267	6,806	539	(注11)
貸付金	4	3	△ 1	
長期借入金償還金	1,905	1,899	△ 5	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	77,860	78,392	531	
収入-支出	-	1,885	1,885	

※項目ごとに四捨五入を行なっているため、計及び差額が合致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠、年俸制導入促進費、教育改善推進枠に伴う特別運営費交付金が交付されたこと及び前期繰越等により、予算額に比して決算額が1,862百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、補助金の新規採択等が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が231百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料、入学料及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が174百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、新たに稼働を開始した診療部門の稼働状況が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が1,762百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として寄宿料、財産貸付等により、予算金額に比して決算金額が151百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことに加え、前年度繰越額のうち当期に使用した額2,077百万円を含めて計上していることから、予算額に比して決算額が2,219百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、賞与引当金289百万円及び退職給付引当金33百万円取り崩したことにより、322百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、主として、(注1)で示した理由により、予算額に比して決算額が1,555百万円多額となっています。
- (注9) 診療経費については、(注4)で示した理由により、医薬品・診療材料費が減少及び経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,303百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、主として(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が231百万円少額となっています。
- (注11) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が539百万円多額となっています。